

(案)

平成28年12月 日

江南市長
澤田和延様

江南市まちづくり会議
議長 ()

まちづくり会議からの意見について

平成28年度の江南市まちづくり会議において、平成26年度及び平成27年度の施策評価の結果について検証し、下記のとおり意見を取りまとめましたので市長へ提出します。

つきましては、第6次江南市総合計画策定の参考としていただきますようお願いいたします。

記

1. 生活環境、産業分野

- ・防災用資機材等に対する助成について、広報やホームページで周知して、制度の浸透を図る必要がある。【柱1・個別目標①】
- ・新たな産業の創出について、市内製造業の事業所数の減少に歯止めをかけ、出荷額等を増加させるためには、新たに起業を考える方に対して、創業支援セミナーの開催等の支援内容を積極的に啓発することが重要である。
【柱4・個別目標②】
- ・観光事業の推進について、フラワーパーク江南へ多くの観光客に訪れてもらえるよう、江南駅から施設までの公共交通機関の整備を検討する必要がある。
【柱4・個別目標⑤】

2. 健康、福祉分野

- ・在宅高齢者施策の推進について、高齢者の見守りは災害時の対応等を考慮し、市や民生委員だけではなく、地元の町内会等でも積極的に実施していくことが望まれる。【柱1・個別目標②】
- ・感染症予防について、ヒブワクチンや小児用肺炎球菌、水痘などの子ども向けの予防接種の種類が増加しており、次期総合計画に掲載する指標を考える際に検討する必要がある。【柱4・個別目標②】
- ・かかりつけ医をもっている市民の割合において、かかりつけ医とは診療所を指すもので病院とは区別するべきであり、次回の市民満足度調査を実施する際には、質問項目の修正を検討する必要がある。【柱4・個別目標④】

3. 都市生活基盤分野

- ・道路等の維持管理は、引き続き道路管理者と各事業者が連携を図り、余分な工事をすることがないよう計画的に実施する必要がある。

【柱2・個別目標②】

- ・市民一人当たりの都市公園面積について、地域ごとに数値の開きがあることから、今後は数値の低い市街化区域を中心に整備して欲しい。【柱3・個別目標①】
- ・下水道の供用開始区域内の接続率について、平成18年4月1日以降に供用開始した区域は実績値に反映されていないため、既に供用開始している全区域を接続率の算出対象とし、早期に接続してもらうための説明をしっかりと行う必要がある。【柱4・個別目標①】

4. 教育分野

- ・登校前に朝食を食べていない児童・生徒が増加している原因の一つに、親が朝食をとらない生活習慣になっていることがあげられると思うので、親に対して朝食の大切さを継続して啓発していく必要がある。【柱1・個別目標③】
- ・不登校児童・生徒は、家庭から外へ出ることが大切であることから、適応指導教室への参加を促し、学校復帰への支援を行っていくことが重要である。

【柱2・個別目標②】

- ・世界平和を願うパネル展について、子ども達に世界の状況を知ってもらい国際理解を深め、もっと広く国際平和などを考える機会とする必要がある。

【柱4・個別目標③】

5. 企画、経営分野

- ・地域協働の促進について、アダプト制度は重要な要素となっているので、地域協働の意識を高めるようなPRを行っていく必要がある。【柱1・個別目標①】
- ・公平かつ適正な賦課について、市税などの課税をする際に賦課誤りがなくなるよう、確認作業を確実に行うことで、返戻納付書の件数を0件にする必要がある。【柱4・個別目標①】

6. 総括

江南市戦略計画では、個別目標を具体的な指標に数値化し、評価を実施している。この評価方法だけでは、指標値相互の関係や、全体としての方向性及び問題点がどこにあるのか見えにくいと考える。

次期総合計画では、個別目標の達成状況の判断だけでなく、その未達成における要因はどこにあるのか、行政で横断的に検討し、全体的な視点から評価できる方法も考慮し策定されることを要望する。